

令和5年度2学期

【自己評価】

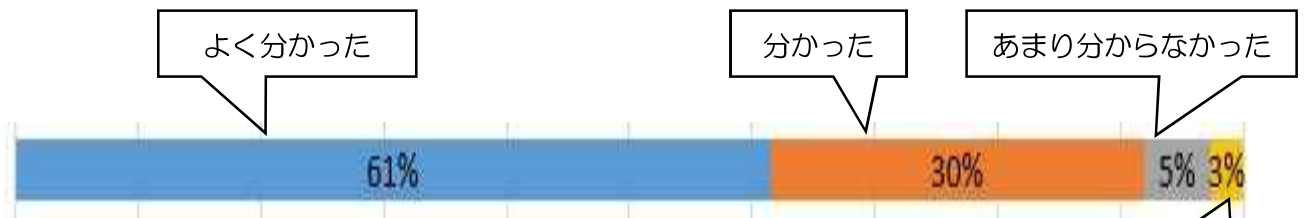
<児童の自己評価>

- 児童アンケートの質問1・2はともに、肯定的評価が9割を超える高い結果となった。
日頃の学習の様子から、児童は英語を使ってのコミュニケーションに親しんでいる。また、国際大学留学生との交流では興味をもって外国についての話を聞き、かかわる姿が見られる。

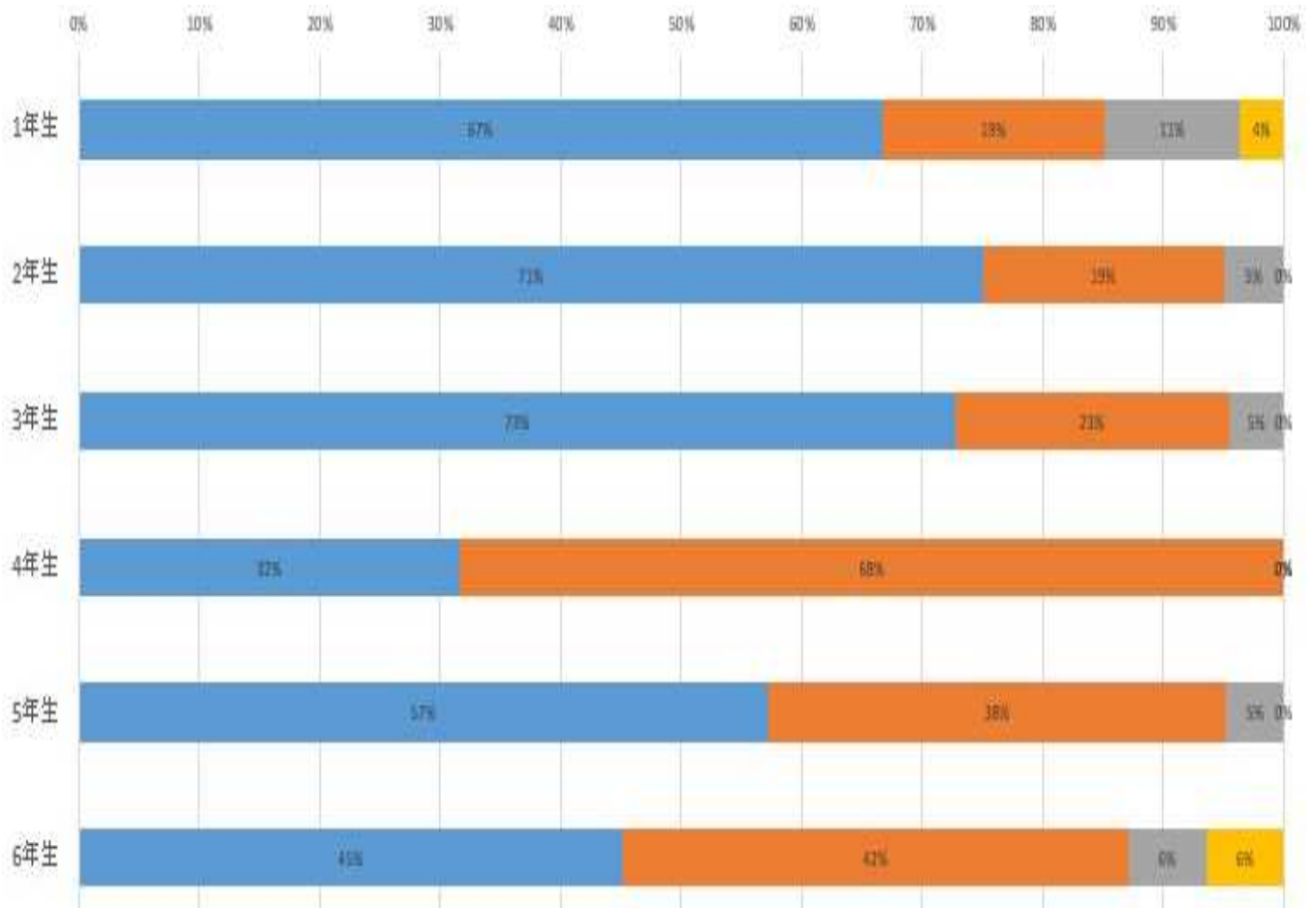
児童アンケート

質問1 国際科の学習で、外国と日本の文化や伝統の違いを感じ、そのよさが分かりましたか。

【全校】



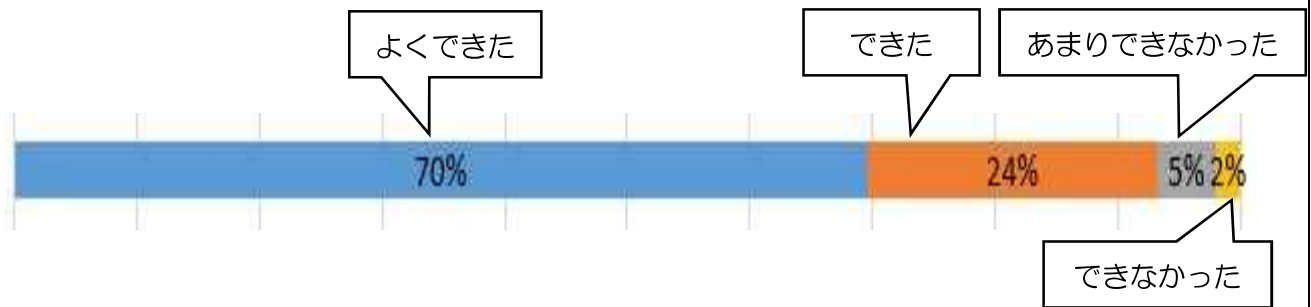
【学年別】



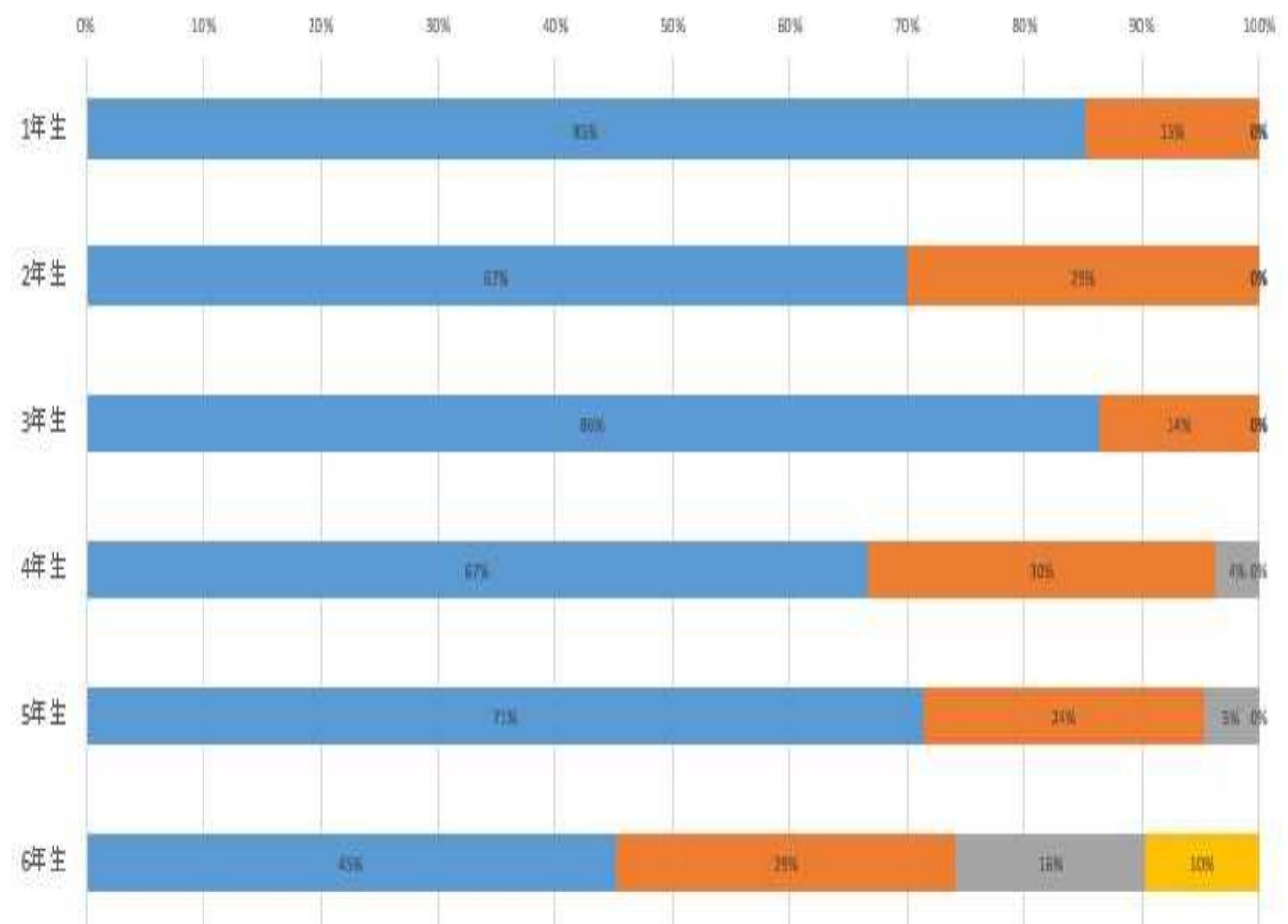
児童アンケート

質問2 国際科の活動で、誰とでも楽しくコミュニケーション活動を行うことができましたか。

【全校】



【学年別】



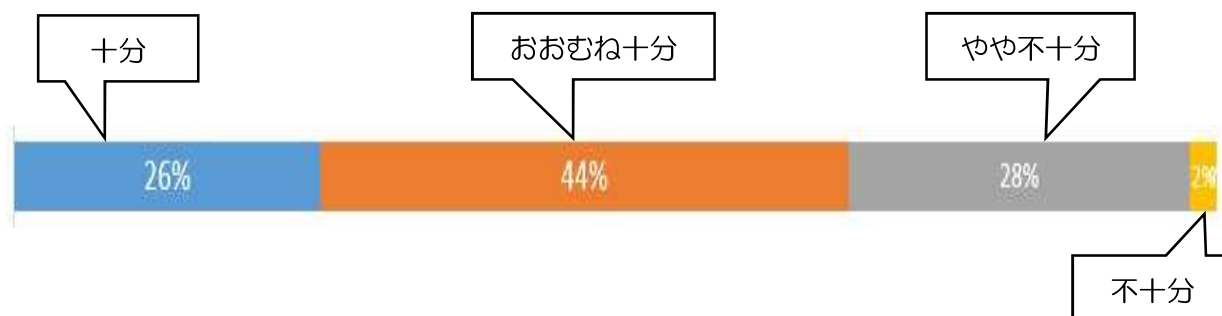
<保護者の評価>

- 保護者アンケートの国際科に対する肯定的な捉えは7割であり、児童の評価とはやや差がある。今後は学校ホームページだけでなく、学校だよりや学年だより等でも児童の意欲的な取組や頑張りを伝え、周知していく。

保護者アンケート

質問 自分の子供は、国際科の授業を通して、英語や外国の文化に興味をもっている。

【全校】



<成果と今後の方針>

(1) 成果

- 国際大学生との交流を年2回行うことにより、様々な国籍の方との交流が実現した。多様な文化や歴史にふれる中で、日本との違いを感じ取り、他者や国について理解し、受け入れようとする態度が年々育っているように感じる。
各学年では、日本の文化や遊び、地域の名産等を紹介する活動を行った。目的意識をもって英語を話す活動に取り組むことで、英語を学ぶことへの意欲を高めながら、多様な国の人とかかわる楽しさを体験することができた。
- タブレットやデジタル教科書の活用などにより、児童同士が英語で楽しくかかわることのできる活動を実施することができた。

(2) 今後の方針

- 交流活動では、国際大学生による自国の紹介を聞くとともに、一人一人の児童がより主体的に英語を通したコミュニケーションを図ることのできる活動を設定し、多様な文化を尊重しながら英語によるコミュニケーションの楽しさを実感できるようにしていく。
また、次年度も交流会は2回実施していきたい。

【学校関係者の評価】

<学校運営協議会での意見・感想>

- 南魚沼市という地域柄、身近に外国出身の方がいて、その方たちとふれ合える国際交流会は、大切な学習機会である。他国籍の方に対しても、同じ「人」としてかかわる力や気持ちが育ってほしい。
- 様々な人に直接接することが大切である。国際交流会で一緒に遊んだり、言葉を交わしたりするのはよい活動であり、今後も続けてほしい。
- 授業で外国の方とふれ合える機会があり、とてもよい取組である。今後もみんなで楽しみながら英語に親しんでほしい。